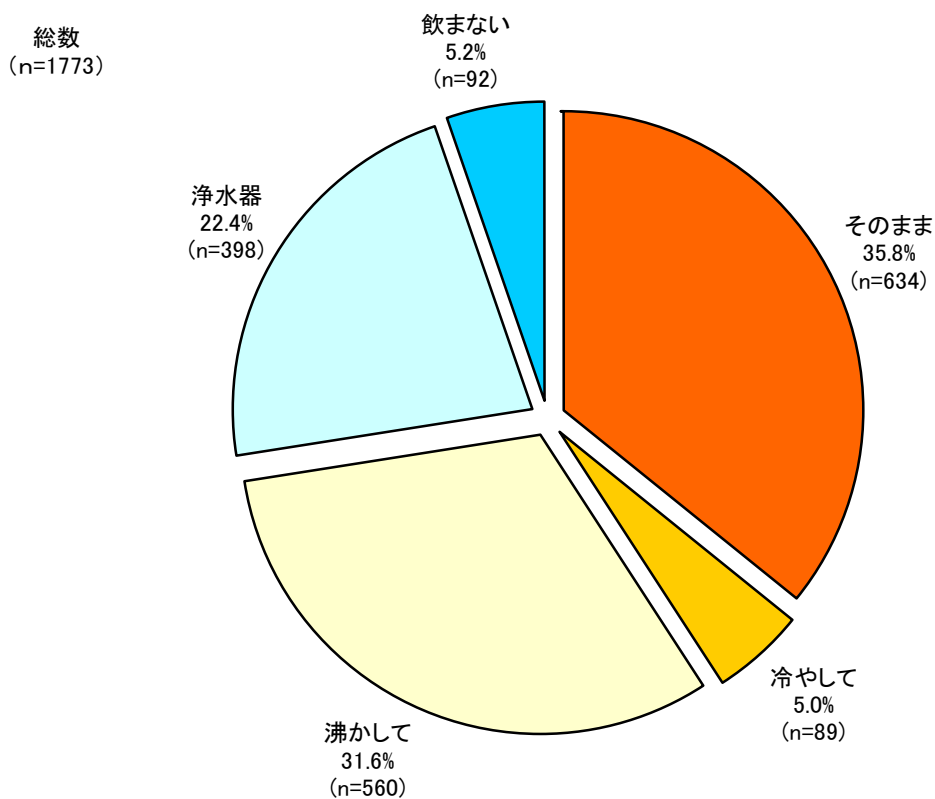


6 水道の利用状況

問6 水道水を飲用するとき、主にどのようにしてお飲みになりますか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。(コーヒー、お茶などにして飲む場合も含みます。)

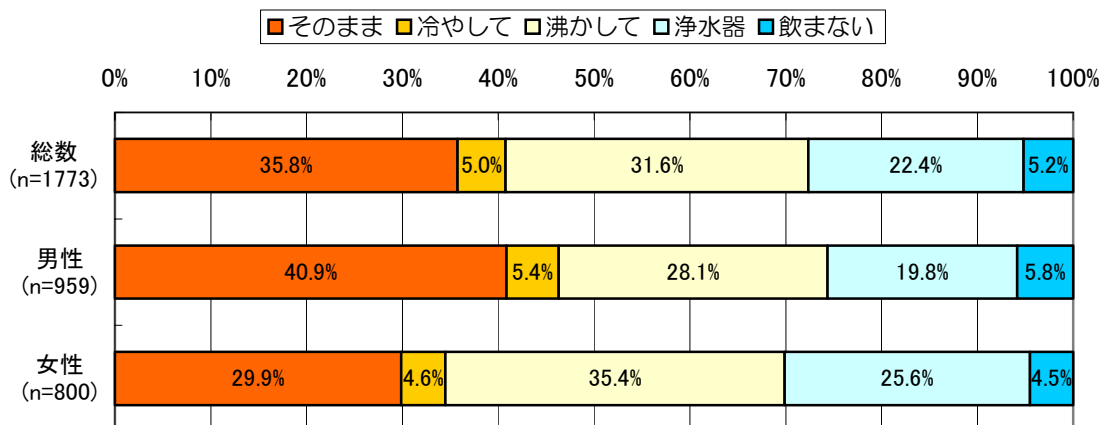
- 1 そのまま飲んでいる
- 2 冷やして飲んでいる
- 3 沸かして飲んでいる
- 4 浄水器を通して飲んでいる
- 5 飲むことはない (ボトルウォーターしか飲まないなど)

(1) 水道の利用状況

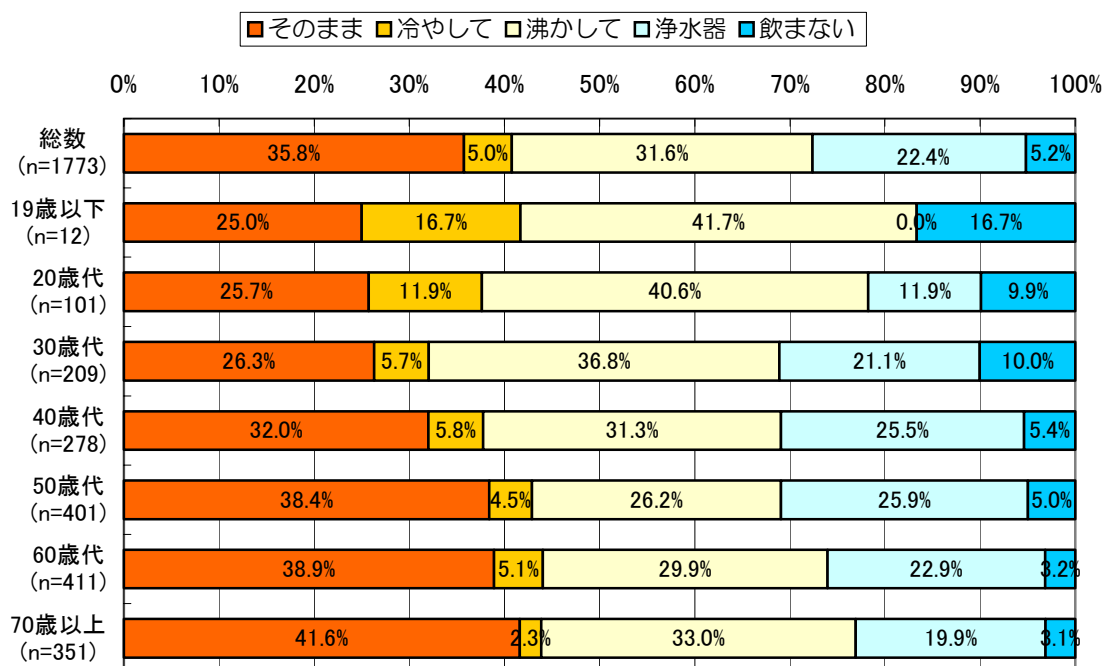


『そのまま飲んでいる』が35.8%と最も多く、ついで『沸かして飲んでいる』が31.6%、『浄水器を通して飲んでいる』が22.4%とつづく。

『水道水を飲むことはない』と答えた人は5.2%であり、何らかの形で水道水を飲用する人の割合は、94.8%となる。

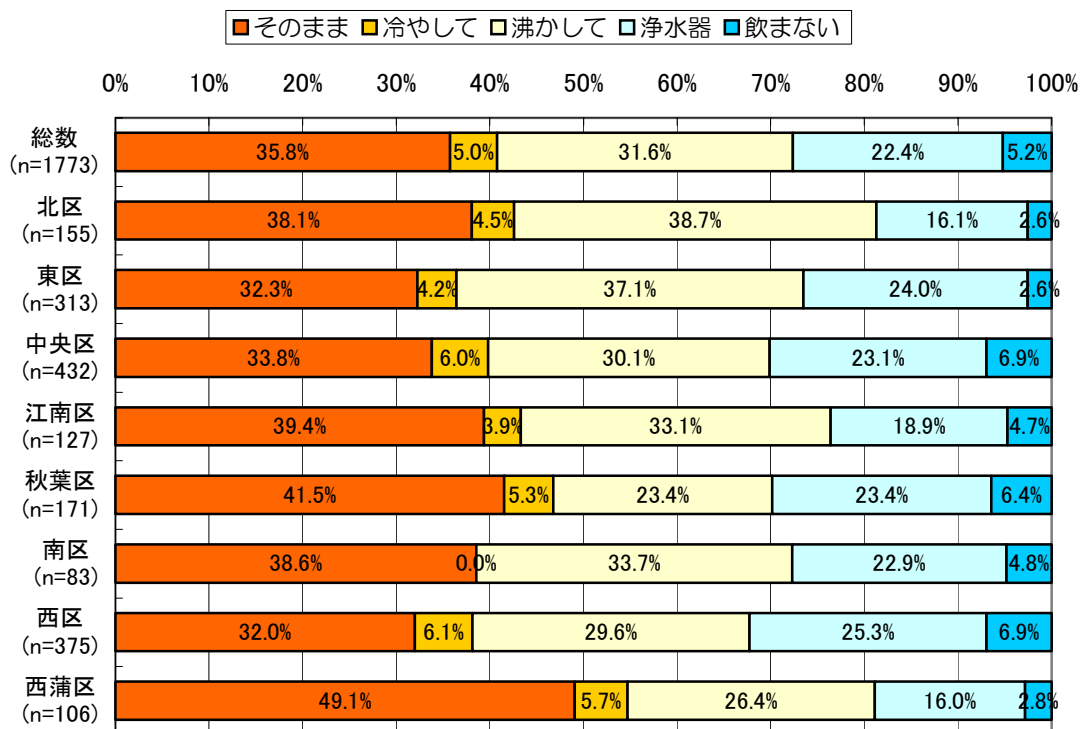


性別でみると、男性では『そのまま飲んでいる』が40.9%と最も多く、ついで『沸かして飲んでいる』の28.1%、『浄水器を通して飲んでいる』の19.8%とつづく。女性では『沸かして飲んでいる』が35.4%と最も多く、ついで『そのまま飲んでいる』の29.9%、『浄水器を通して飲んでいる』の25.6%とつづいている。



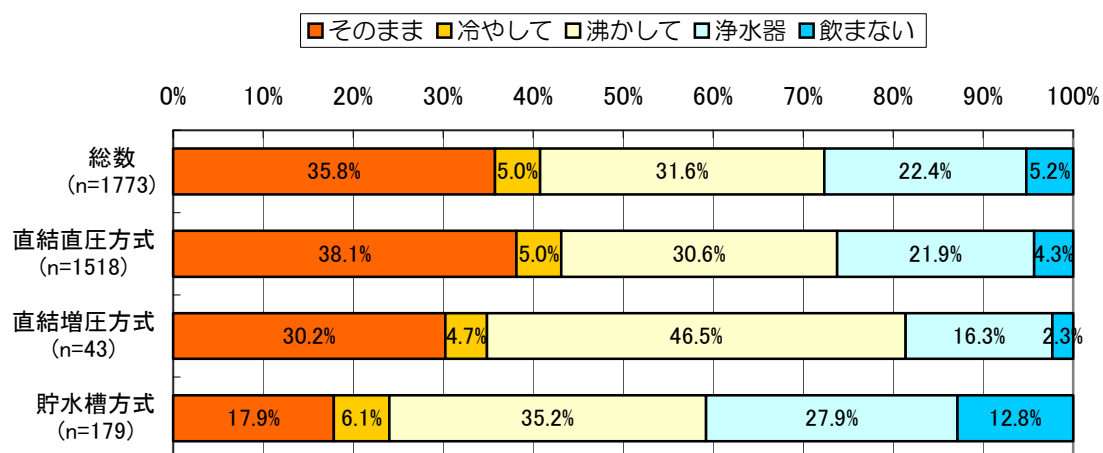
年代別にみると、40歳代以上では『そのまま飲んでいる』と答えた人の割合が最も高く、30歳代以下では『沸かして飲んでいる』と答えた人の割合が最も高くなる。

また、30歳代以下では、『水道水を飲むことはない』と答えた人の割合が10%を超えている。



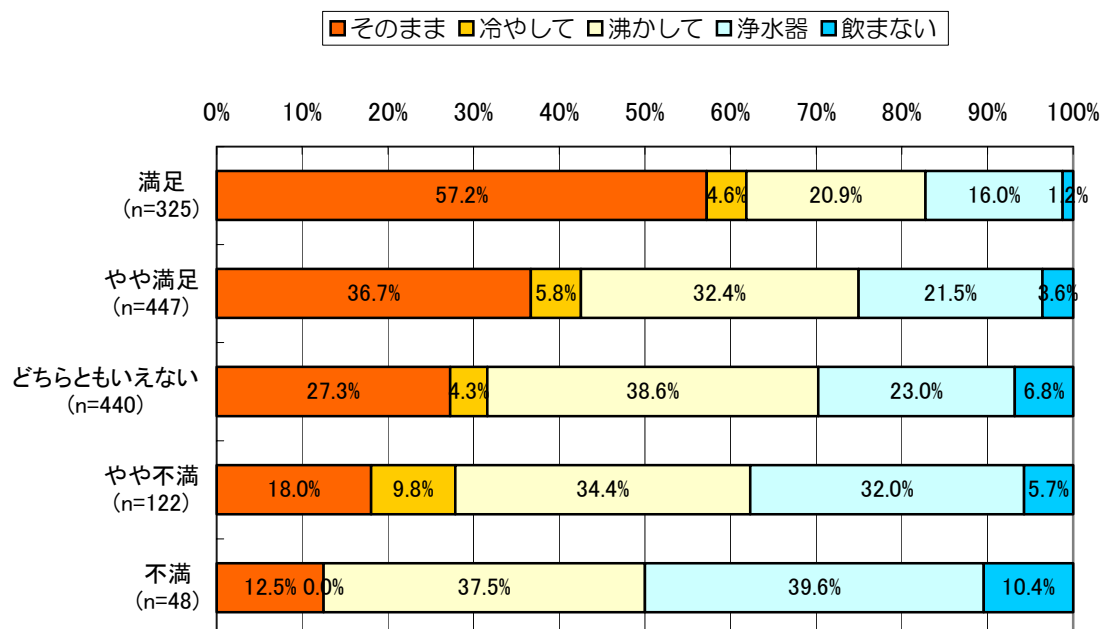
北区と東区では『沸かして飲んでいる』と答えた人の割合が最も高いが、その他の区では『そのまま飲んでいる』と答えた人の割合が最も高い結果となっている。

そのうち西蒲区は、『そのまま飲んでいる』と答えた人の割合が49.1%であり、他の区と比較して高い結果となった。



給水方式をみると、「貯水槽方式」では、『そのまま飲んでいる』と答えた人の割合が低い一方、『浄水器を通して飲んでいる』が27.9%と高い割合となっている。また、『水道水を飲むことはない』と答えた人の割合が12.8%となっており、他の方式と比較して高い割合となっている。

(2) 水道の利用状況と水道水の安全性に対する満足度との関係



水道の利用状況と問1で質問した水道水の安全性に対する満足度をクロス集計して、関係性を表したものである。

水道水の安全性に満足していると答えた人の中では、「そのまま飲んでいる」と答えた人の割合が最も高く57.2%であったのに対し、水道水の安全性に不満があると答えた人の中では、12.5%にとどまっており、水道水の安全性に対して満足度が高いほど、「そのまま飲んでいる」と答えた人の割合が高くなる傾向が表れている。

また、水道水の安全性に対する満足度が低いほど、「飲むことはない（ボトルウォーターしか飲まないなど）」と答えた人の割合が高くなっている。